

子ども・若者意見聴取事業 一めぐろYouthミーティングー

Youthからの意見と区からのアンサー



<Youthの意見①>

勉強ができる学習スペースをもっと増やしてほしい。



<回答>

今の目黒区で学習ができる施設は、図書館や児童館があります。児童館では、子どもの自由な活動を尊重し、活動室では、ずっと勉強している子もいます。ちなみに、東根児童館には、区内で唯一学習専用ルームがあり、好きなだけ勉強をすることができます。その他の施設では、多くの人が平等に利用できるよう、どうしても予約制となっていたり、使用できる時間が決められていたりします。小学生、中学生、高校生などその人によって、使用したい時間は違うかもしれません。区としても、もっと、自由なタイミングで使用することができるような居場所があると良いのではないかと考えています。

事業名等	P. 74	II-(3)-0 1	生きづらさを抱える子どもたちのための居場所づくり
	P. 75	II-(3)-0 3	乳幼児から中高生までの新たな居場所の創設
	P. 75、107	II-(3)-0 4	児童館等の役割再構築
	P. 76、107	II-(3)-0 5	既存の社会資源などを活用した子どもの居場所事業



<Youthの意見②>

経済的に塾に行けない子どもに対しての支援策が必要。



<回答>

今の目黒区では2つの学習支援を行っています。まず、1点目「めぐろ子ども未来応援塾」といって、ひとり親家庭の小学4年生から高校3年生を対象に受講者（条件設定あり）を募集して、ボランティアの方々が学習習慣の定着や基礎的な学力の向上を図るための学習支援をしています。つぎに2点目「目黒区子どもの学習・生活支援事業」といって、生活に不安を抱えている世帯の子どもを支えていく取り組みの一環として、平成27年度から認定特定非営利活動法人キッズドアと連携し、区内在住の中学生と高校生を対象とし実施しています。学習習慣を身に付け、目標とする高校や大学などの進学への一助としてもらうため、一人ひとり寄り添う形での個別学習支援を行っています。「塾に行きたくても行けない」「学びたくても学べない」という心の声に、寄り添ってサポートしていきます。

事業名等	P. 101	III-(3)-0 6	地域の学習支援団体への支援事業
	P. 102	III-(3)-1 1	学習支援事業



<Youthの意見③>

若者世代への広報は、LINEなどのSNSをもっと活用すべき。



<回答>

今の目黒区では、SNS（LINEやXなど）の公式アカウントがあり、ご自身のアカウントをお持ちの方々は、様々な情報を取得したり、知りたい情報を検索出来たりするようになっています。ただし、若者のみなさんに、目黒区のことをより身近に感じてもらうためには、目黒区からの発信力を強めていく必要性を感じています。そのため、来年度からLINE等を通じた、若者の皆さんを対象とした情報発信に取り組んでいく予定です。

事業名等	P. 43	I-(1)-0 1	地域子育て支援事業の周知・啓発
	P. 46	I-(2)-0 1	めぐろ子ども・若者会議の設置に向けた検討



<Youthの意見④>

木造密集地域において、災害時の対策が地域住民に浸透しているのか疑問。



<回答>

目黒区は、老朽化した木造住宅が密集し、公共施設等の整備が不十分な地域（木造住宅密集地域）において、老朽建築物の建替えや公園等の整備などに取り組み、防災性と住環境の向上を目指しています。また、地域住民主体の協議会において、防災講演会を地元の小学校などで開催し、子育て世帯を含む地域のみなさまが参加しています。今後も、若い世代のみなさんが主体となって、地域防災力の向上の推進を行えるような取り組みを行っていきます。

事業名等	P. 118	V-(1)	防犯・防災対策の推進
------	--------	-------	------------



<Youthの意見⑤>

子ども達に対して公募で集めた意見、本当に反映されているのか。



<回答>

はい！ 実は今までも、児童館の運営などは子ども達と一緒にルールを決めながら運営を行ってきました。子ども達の居場所のルールに限らず、区の施設や事業、様々なことに対して、子ども達の声を聴き、その意見を取り入れながら取り組みを進めています。子どもから大人までみんなにとって魅力ある目黒区していきたいと考えています。ただし、今までは、その意見がどこで採用され、どの事業に反映されたのかわからなかったため、そのような思いを持たれたのかもしれませんが、今後は、みなさんからいただいた意見が、どのように反映されたのか、できるだけフィードバックしていきたいと考えています。

事業名等 P. 46 I-(2)-01 めぐろ子ども・若者会議の設置に向けた検討
P. 47 I-(2)-03 MEGUROこどもモニターによる子どもの意見の把握
P. 48 I-(2)-04 Youthミーティングによる子どもたちとの意見交換



<Youthの意見⑥>

路上喫煙は禁止なのに店先での喫煙をしている人がいるのが子どもにとって少し迷惑だと感じる。たばこ専用スペースなどを設けてほしい。



<回答>

目黒区では現在、中目黒など4駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定し、区域内の道路での喫煙を禁止にしています。とはいえ、店先で喫煙をしていた場合、お店の敷地内で喫煙されている方は、区の条例の対象外になって取り締まることができません。（くやしいです。）とはいっても、ご指摘いただいているように、迷惑だと感じるという声も目黒区に届いているのが現実です。そのため、これからも喫煙所の増設、店舗への働きかけ、各種啓発活動を行い、たばこを吸う人と吸わない人が共存できる環境整備に取り組んでいきます。また、今後、路上喫煙禁止区域を区内全域に拡大する方向で検討を進めています。

事業名等 P. 124 V-(3) 子育てにやさしい環境づくり



<Youthの意見⑦>

もっと自転車の専用レーンを設置してほしい。歩道が狭くて登下校の小学生も危険だと感じる。



<回答>

目黒区内では、自転車レーン（または自転車専用通行帯）や自転車ナビマークなどの自転車走行環境整備を進めています。しかし、区道では自転車レーンを設置するための規定（幅員等）を満たす道路が少ないため、主に自転車ナビマークの整備が中心となっています。そのため、自転車の専用レーンがあることが望ましいですが、道路の整備だけではなく、自転車に乗る人のマナーの向上も必要だと考えています。道路交通法上、自転車は軽車両と位置づけられているので、車道の左側通行が原則です。引き続き、違反者に対しては、毎年、警察と連携して周知啓発活動をおこない、安全な歩道の確保を目指します。

事業名等 P. 122 V-(2)-03 総合的な自転車対策の推進



<Youthの意見⑧>

目黒区って魅力いっぱいだけど、いろいろな課題が埋もれていると感じる。



<回答>

目黒区は魅力がいっぱい！ 目黒区で過ごして下さる方々がそう感じてくださることはとても嬉しいことです！ ただし、きっとその反面、もっとこうしたら良いのに・・・と思うこともあるかと思います。私達職員も、もっともっとみなさんに目黒区の魅力を感じてもらえるように、課題解決に向けて全力で取り組んでいきます。来年度から、みなさんもそうした課題に対して、一緒に取り組んでいけるような仕組みを考えていますので、協力してくださいね。

たくさんの意見をありがとうございました。これからも目黒区は子ども・若者の皆様の意見をなるべく施策に反映できるよう、引き続き検討していきます。

